



Information-technology
Promotion
Agency, Japan

2020年度
情報セキュリティの倫理と脅威に対する意識調査
－【脅威編】報告書－

2021年3月

独立行政法人 情報処理推進機構

1. 調査概要	2
2. 調査方法および回答者条件・属性	4
3. 調査結果(抜粋)および考察	9
3-0. 質問項目	10
3-1. セキュリティ教育の受講経験	11
3-2. 脅威名の認知度	12
3-3. 脅威との遭遇経験	13
3-4. 被害経験	15
3-5. パスワード設定における対策状況	17
3-6. パスワード管理方法	21
3-7. 脆弱性対策状況	23
3-8. セキュリティ対策状況	24
4. クロス集計結果：複数アカウント保有者のパスワード管理方法	26
4-1. プライベートな情報を書き込むアカウントと金銭を扱うアカウントでのパスワードの管理方法	27
4-2. 「記憶」や「紙」で管理している人のパスワードの使いまわし状況	28
4-3. パスワード設定方法の三原則の実施状況とアカウント保有数の関係	29

目的	①ネット利用における様々な脅威に対する正しい認知・理解の有無 ②脅威の遭遇・被害の有無 ③ID、パスワードの管理方法 ④実施しているセキュリティ対策 上記について調査を実施し、現状を把握し、歴年比較するため
背景	巧妙・多様化するネット上の脅威への対処・対策について、利用者に対し継続した周知が必要
変遷	2005年度-2006年度：情報セキュリティに関する新たな脅威に対する意識調査 2007年度-2020年度：情報セキュリティに関する脅威に対する意識調査
手法	ウェブアンケート
実施期間	2020年12月9日(水)~12月14日(月)
実施者	株式会社アスマーク

1-2.調査概要

対象者条件	総務省「令和元年通信利用動向調査」を基に、パソコン利用者およびスマートデバイス利用者において、性別・年代別割合でアンケート回収数を算出（下記表）
サンプル数	パソコン利用者：5,000人、スマートデバイス利用者：5,000人

パソコン利用者							スマートデバイス利用者					
年齢層	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	n数	%	n数	%	n数	%	n数	%	n数	%	n数	%
13-14歳	35	0.70	38	0.76	73	1.46	48	0.96	47	0.94	95	1.90
15-19歳	113	2.26	113	2.26	226	4.52	163	3.26	175	3.50	338	6.76
20-29歳	389	7.78	344	6.88	733	14.66	399	7.98	384	7.68	783	15.66
30-39歳	460	9.20	396	7.92	856	17.12	432	8.64	440	8.80	872	17.44
40-49歳	578	11.56	463	9.26	1,041	20.82	534	10.68	539	10.78	1,073	21.46
50-59歳	530	10.60	380	7.60	910	18.20	442	8.84	461	9.22	903	18.06
60-69歳	416	8.32	254	5.08	670	13.40	308	6.16	302	6.04	610	12.20
70歳以上	337	6.74	154	3.08	491	9.82	172	3.46	153	3.06	326	6.52
合計	2,858	57.16	2,142	42.84	5,000	100.0	2,499	49.98	2,501	50.02	5,000	100.0

2.調査方法および回答者条件・属性

1. 事前調査	・対象:調査実施会社から依頼可能な全国の回答者 ・質問内容:パソコンおよびスマートデバイス(スマートフォン、タブレット)によるインターネットの利用時間
2. 回答者振り分け	以下2種類に振り分け。 ①「インターネットの利用時間がスマートデバイスよりパソコンの方が長い」回答者 ②「インターネットの利用時間がパソコンよりスマートデバイスの方が長い」回答者
3. 本調査	上記①にパソコン利用者向けの設問、②にスマートデバイス向けの設問の回答を依頼。
4. 割付	・回答データのうち不備のないものを性別・年代毎にグループ分け。 ・各性別・年代のグループが指定のデータ数となるようにランダム抽出。 ※ グループ毎のデータ数はP3を参照 ※ 割付の目的:全国のパソコン・スマートフォン利用者の性別・年代別構成を反映した回答データを集計することにより、回答者全体のセキュリティ対策実施率等を計算した際に実態に近い結果を得ること

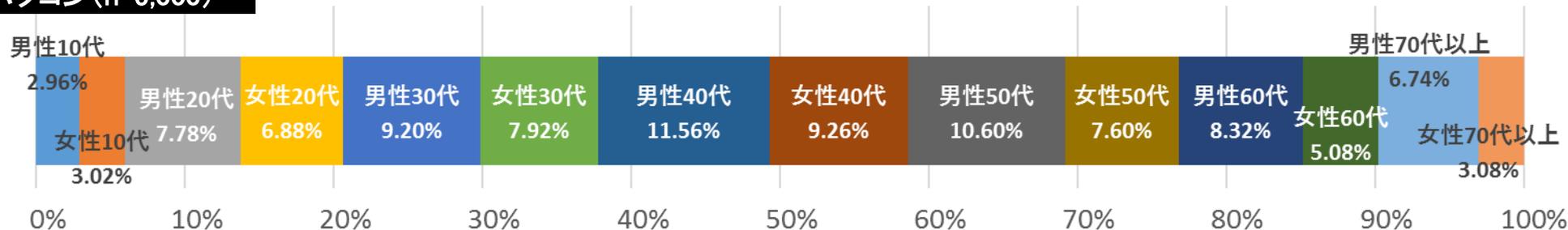
2-2.回答者条件(性別・年代)

性別・年代毎の回収数はP3の通り指定。回収数の算出方法は以下の通り。

1. 性別・年代毎の人数抽出	総務省「令和元年通信利用動向調査」の集計結果から、パソコン利用者、スマートフォン利用者の性別・年代毎の人数を抽出。
2. 性別・年代毎の割合算出	抽出した性別・年代毎の人数を全性別・年代の合計人数で割って、割合(P3の表の%の列)を計算。
3. 性別・年代毎の人数算出	本調査の目標回収数(パソコン、スマートデバイス各5,000件)の内訳(P3の表のn数の列)を、上記で算出した割合に基づいて計算。

ただし、調査結果では下記のように13-14歳と15-19歳を合算して「10代」として集計。

パソコン(n=5,000)



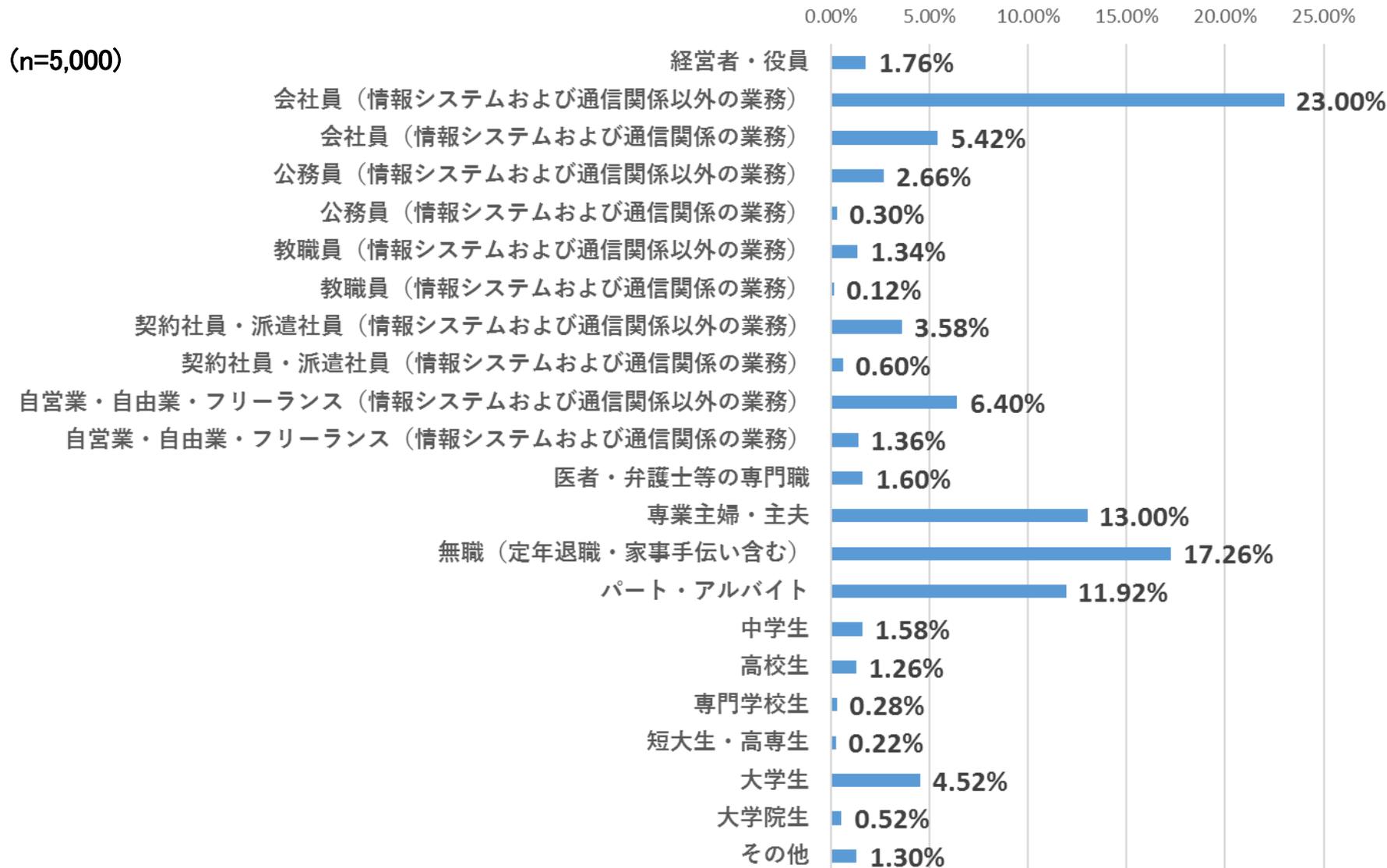
スマートデバイス(n=5,000)



スマートデバイス(n=5,000)

2-3.回答者属性(パソコン)

事前調査における職業の回答について、本調査パソコン回答者を対象に集計した結果は以下の通り

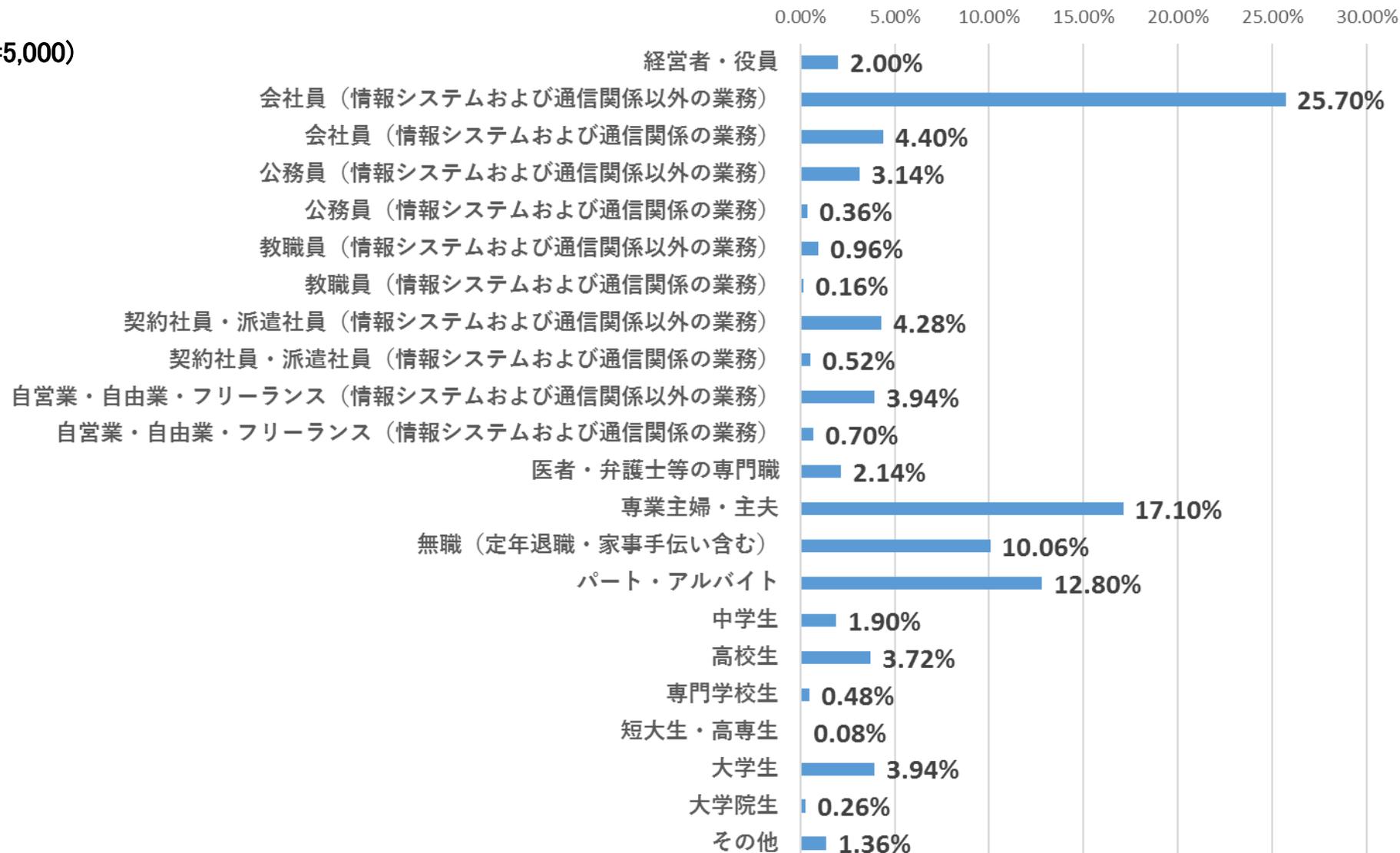


全設問を職業別にクロス集計した結果は「クロス集計グラフ_職業軸_脅威調査PC.pdf」を参照。

2-4.回答者属性(スマートデバイス)

事前調査における職業の回答について、本調査スマートデバイス回答者を対象に集計した結果は以下の通り

(n=5,000)



全設問を職業別にクロス集計した結果は「クロス集計グラフ_職業軸_脅威調査SD.pdf」を参照。

3.調査結果(抜粋)および考察

調査結果の見方

- nは回答者数を表している。
- 回答率(%)は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため、合計は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。
- nが30未満の数値は参考値とする(nの数値背景をグレーで表示)。

3-0.質問項目

	質問内容	形式	選択肢	
			パソコン	スマートデバイス
Q.1	セキュリティ教育の受講経験	択一	4	4
Q.2	脅威の認知度	マトリクス択一	13×4	13×4
Q.3	脅威の特徴、手口、被害例等の理解度	〃	39×3	39×3
Q.4	脅威との遭遇経験	複数選択	8	9
Q.5	被害経験	〃	10	10
Q.6	アカウント保有数	択一	12	12
Q.7	パスワード設定における対策状況	マトリクス択一	5×3	5×3
Q.8	パスワード管理方法	マトリクス複数選択	3×12	3×12
Q.9	脆弱性対策の必要性認知	択一	2	2
Q.10	脆弱性対策状況	マトリクス択一	5×6	5×6
Q.11	セキュリティ対策状況	〃	21×5	18×6

全ての設問の集計結果は別紙を参照

- ・「脅威調査PC.pdf」
- ・「性年代軸_脅威調査PC.pdf」
- ・「職業軸_脅威調査PC.pdf」
- ・「脅威調査SD.pdf」
- ・「性年代軸_脅威調査SD.pdf」
- ・「職業軸_脅威調査SD.pdf」

■ 本報告書にはグラフ未掲載(一部の数値のみ等)

3-1.セキュリティ教育の受講経験(Q.1)

- 10代が突出して多い(赤枠)。
- 時代、社会の要請で初等中等教育機関での教育機会が提供されていることがうかがえる。

パソコン

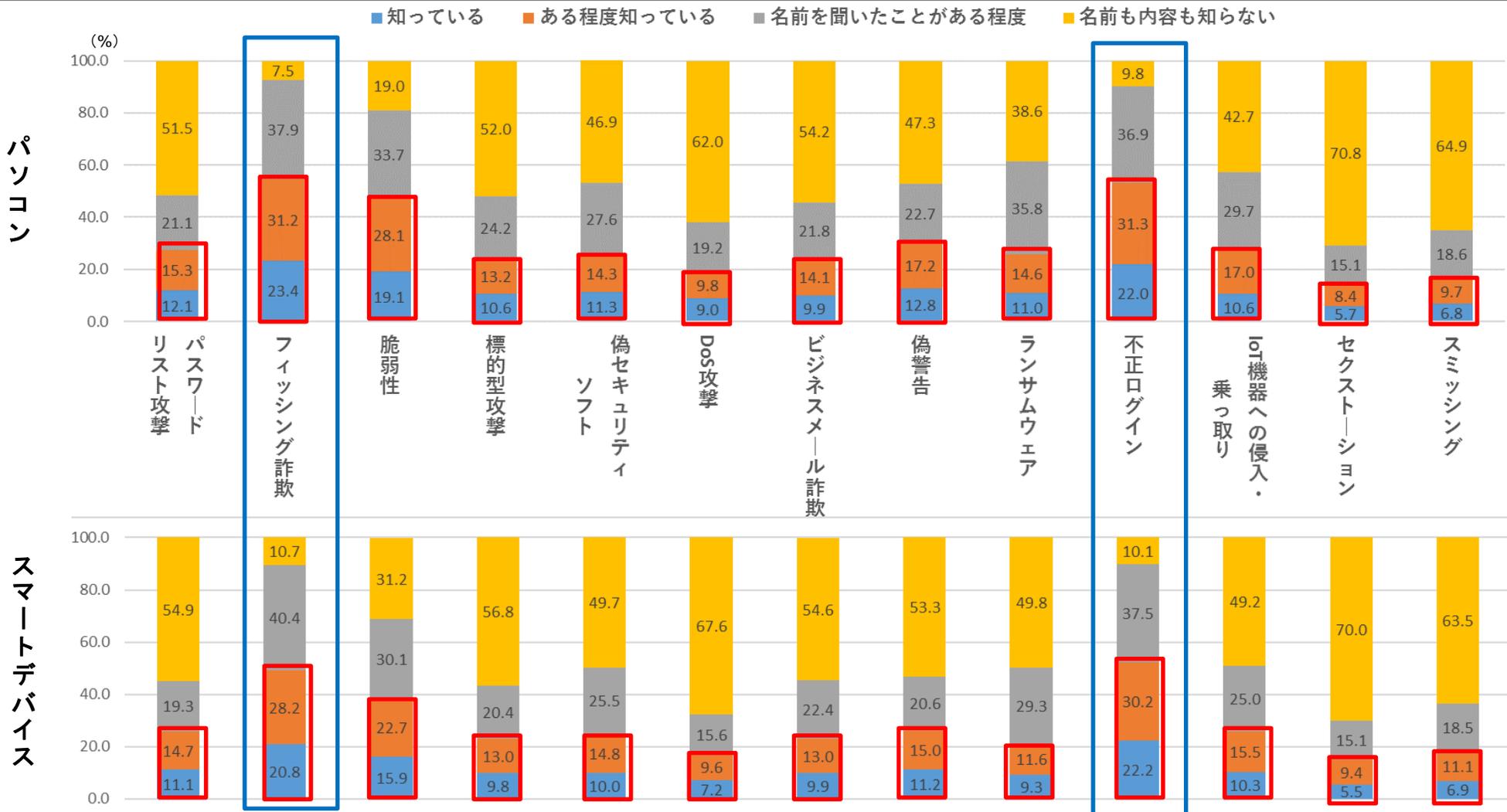
スマートデバイス

■ 1年以内 ■ 1年以上前 ■ 経験なし ■ 覚えていない
n (%)

		パソコン				スマートデバイス					
		n	1年以内 (%)	1年以上前 (%)	経験なし (%)	覚えていない (%)	n	1年以内 (%)	1年以上前 (%)	経験なし (%)	覚えていない (%)
全体		5,000	7.0	6.6	82.1	4.2	5,000	8.3	7.8	78.8	5.1
性別	男性	2,858	8.4	6.5	80.8	4.3	2,499	10.4	7.6	76.4	5.7
	女性	2,142	5.2	6.7	83.9	4.2	2,501	6.2	8.1	81.2	4.5
年代別	10代	299	22.1	18.4	49.8	9.7	433	19.6	24.2	45.7	10.4
	20代	733	7.8	13.1	69.6	9.5	783	8.7	14.6	67.3	9.5
	30代	856	6.8	6.4	82.5	4.3	872	7.2	7.6	80.3	4.9
	40代	1,041	5.9	4.7	87.0	2.4	1,073	8.4	4.0	83.9	3.7
	50代	910	7.5	2.7	87.9	1.9	903	6.4	3.8	86.3	3.5
	60代	670	4.6	4.6	88.8	1.9	610	6.2	3.3	88.4	2.1
	70代以上	491	2.2	4.1	89.6	4.1	326	4.3	2.8	90.8	2.1

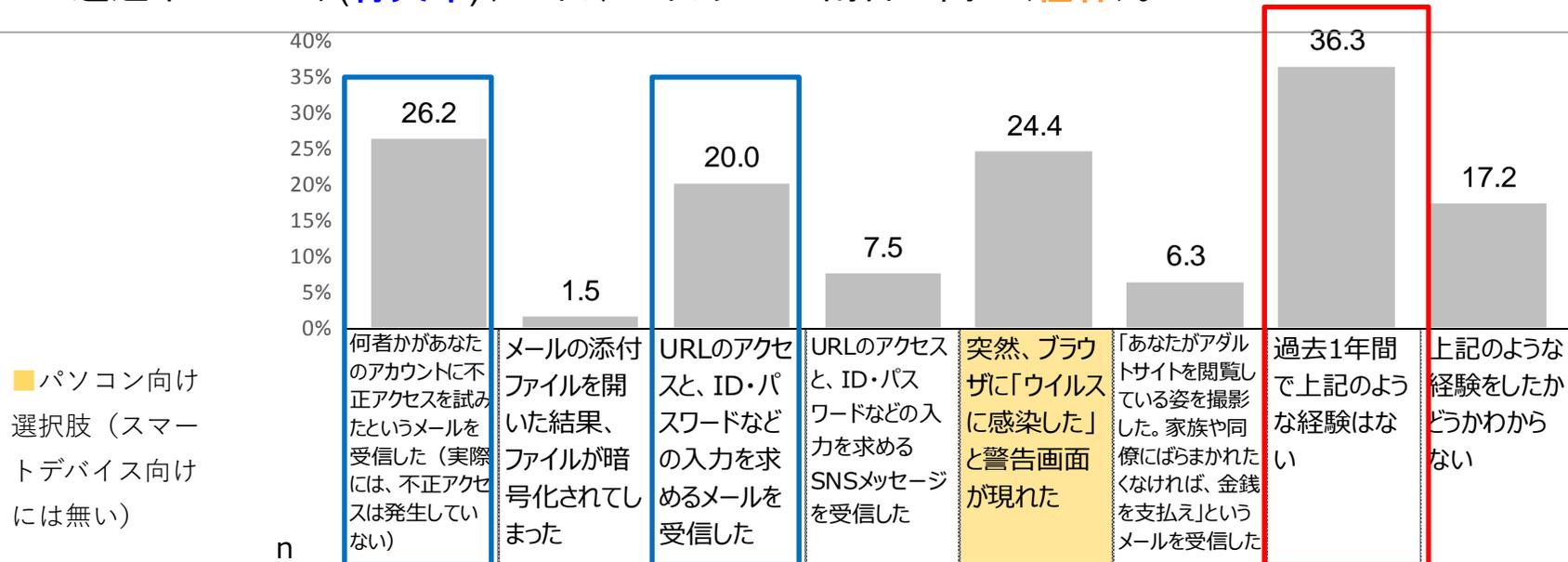
3-2. 脅威名の認知度 (Q.2)

- 全体的にパソコンよりスマートデバイス利用者の認知度(赤枠)が低い(セクストーション、スミッシングを除く)。
- 脅威別ではフィッシング詐欺、不正ログイン(青枠)が高い(ニュースなどで目にする機会が多いと考えられる)。
- 性別比較では、女性は男性より10%以上認知度が低い
(「性年代軸_脅威調査PC.pdf」, 「性年代軸_脅威調査SD.pdf」を参照)



3-3-1. 脅威との遭遇経験(Q.4)パソコン利用者(複数回答可)

- 36.3%は脅威の遭遇経験無し(赤枠)。
- 「経験なし」、「わからない」は年代が若いほど割合が高く(赤矢印)10代、20代の高さが顕著(緑枠)。
- フィッシングを仕掛けるメール(下記青枠2つ)は10代、20代の遭遇割合が低く(青点線枠)、年代が上がるほど遭遇率が上がり(青矢印)、60代、70代以上の割合が高い(橙枠)。

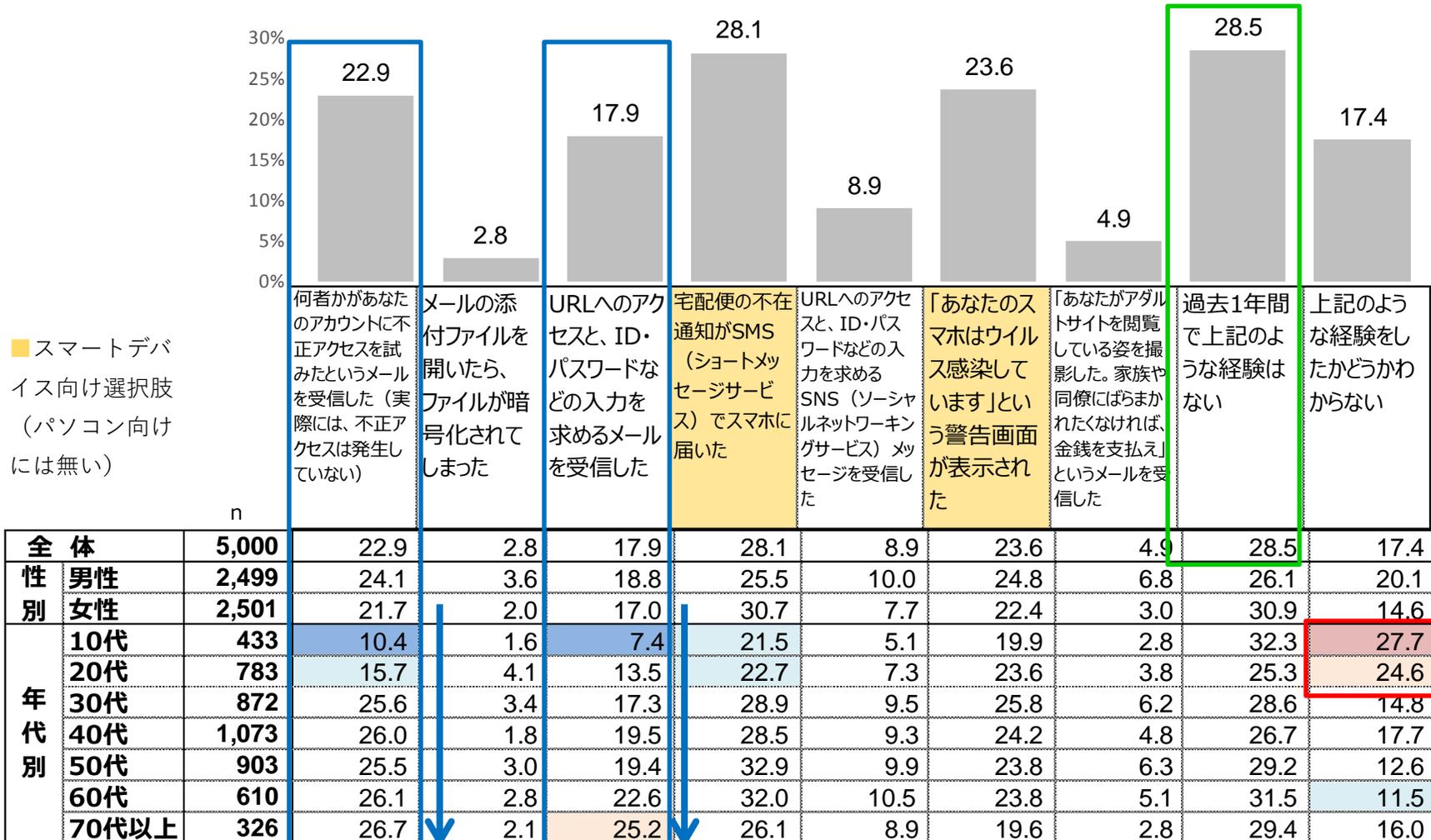


		n	何者かがあなたのアカウントに不正アクセスを試みたというメールを受信した(実際には、不正アクセスは発生していない)	メールの添付ファイルを開いた結果、ファイルが暗号化されてしまった	URLのアクセスと、ID・パスワードなどの入力を求めるメールを受信した	URLのアクセスと、ID・パスワードなどの入力を求めるSNSメッセージを受信した	突然、ブラウザに「ウイルスに感染した」と警告画面が現れた	「あなたがアダルトサイトを閲覧している姿を撮影した。家族や同僚にばらまかれたいくれば、金銭を支払え」というメールを受信した	過去1年間で上記のような経験はない	上記のような経験をしたかどうかわからない
全体		5,000	26.2	1.5	20.0	7.5	24.4	6.3	36.3	17.2
性別	男性	2,858	27.0	1.6	22.3	8.7	27.2	8.3	33.9	16.9
	女性	2,142	25.2	1.4	17.0	5.8	20.6	3.7	39.6	17.6
年代別	10代	299	13.0	3.0	11.0	7.0	20.1	3.3	41.5	25.1
	20代	733	16.5	2.9	12.4	7.0	20.5	4.6	38.5	23.5
	30代	856	22.0	2.1	15.7	6.0	21.7	4.6	38.7	19.9
	40代	1,041	29.0	0.8	21.9	8.5	26.7	8.4	33.4	17.1
	50代	910	31.0	0.7	23.4	8.8	25.3	7.0	34.4	15.4
	60代	670	31.9	1.3	24.8	6.4	25.2	7.2	36.3	11.9
	70代以上	491	33.6	1.2	27.7	7.7	29.5	7.1	35.8	9.2

【全体比】 ■ …10pt以上 ■ …5pt以上 ■ …5pt以下 ■ …10pt以下

3-3-2. 脅威との遭遇経験(Q.4)スマートデバイス利用者(複数回答可) 脅威編

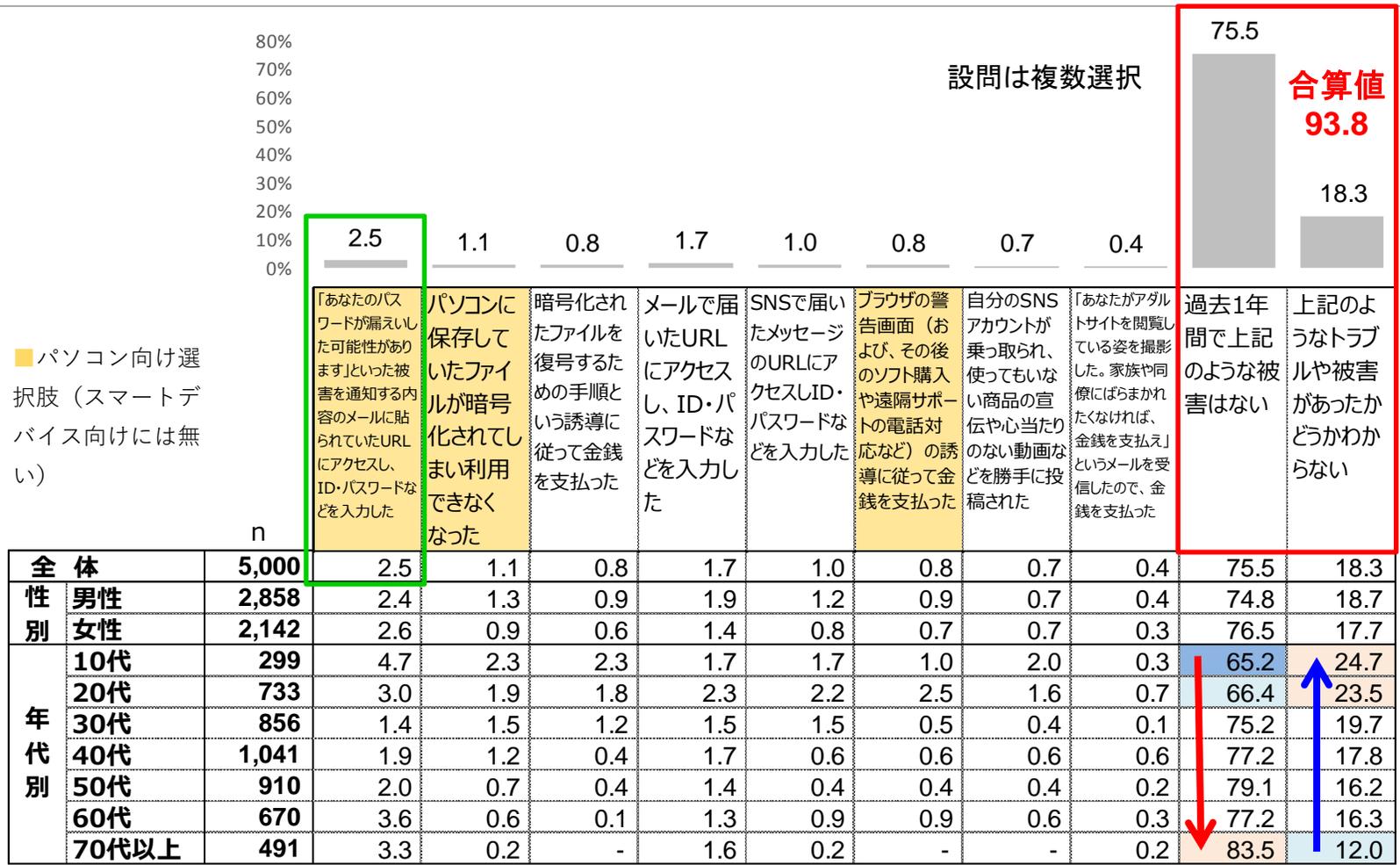
- 28.5%が脅威との遭遇経験は無く(緑枠)、PC利用者と比較するとスマートデバイスの方が遭遇率が高い。
- 「わからない」は10代、20代の割合が高い(赤枠)。
- フィッシングを仕掛けるメール(下記青枠2つ)は10代、20代の遭遇率が低く、70代以上で高い。



【全体比】 ■ ……10pt以上 ■ ……5pt以上 ■ ……5pt以下 ■ ……10pt以下

3-4-1. 被害経験(Q.5)パソコン利用者

- 被害経験の自覚があるのは6.2%※(赤枠)
- 若年層ほど「被害なし」の割合が低く(赤矢印)、「わからない」の割合が高い(青矢印)。
- 被害種別では「パスワード漏えいの被害を騙るフィッシング」の被害経験が最多(緑枠)。



■ パソコン向け選択肢 (スマートデバイス向けには無い)

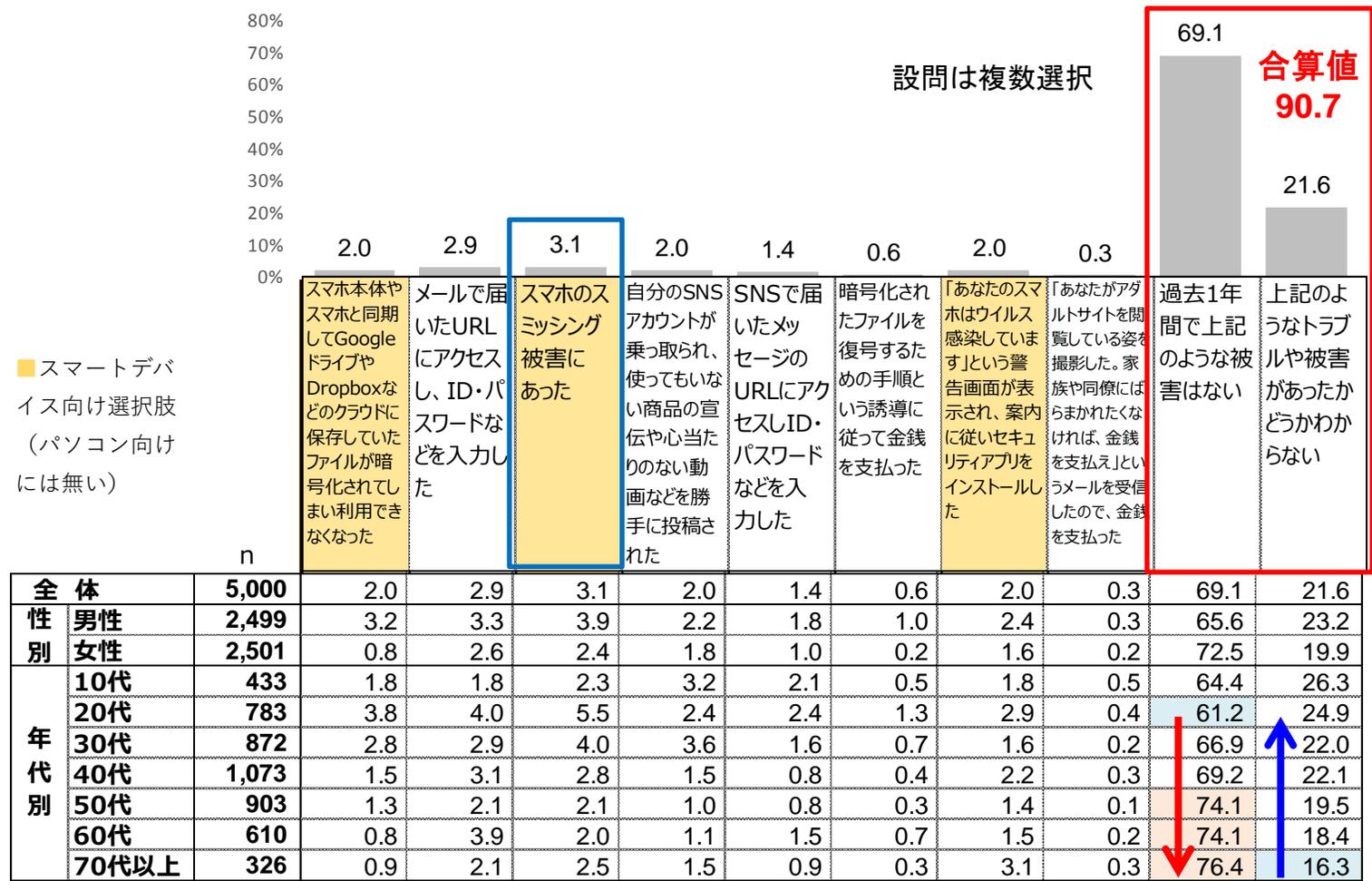
【全体比】 ■ …10pt以上 ■ …5pt以上 ■ …5pt以下 ■ …10pt以下

※全体から93.8%減算

3-4-2. 被害経験(Q.5)スマートデバイス利用者

- 被害経験の自覚があるのは9.3%※1 (赤枠)
- 若年層ほど「被害なし」の割合が低く(赤矢印)、「わからない」の割合が高い(青矢印)
- 被害種別では、「スミッシング被害遭遇」割合※2が最も多い(青枠)。

※2: SMSの誘導に従って「Apple IDとパスワードを入力」、「アプリをインストール」のいずれかまたは両方に当てはまる回答を集計



【全体比】 ■ …10pt以上 ■ …5pt以上 ■ …5pt以下 ■ …10pt以下

※1: 全体から90.7%減算

3-5-1. パスワード設定における対策状況(Q7.-1)「推測しにくいパスワード」

- 若年層かつスマートデバイス利用者ほど対策率が低く、1年以内の対策開始の割合が高い(緑矢印)。
- 設定率はパソコンが82.1%、スマートデバイスが77.4%(青枠)。
- 2019年度の結果はパソコン75.1%、スマートデバイス69.4%で、2020年度の対策割合が向上

		パソコン			スマートデバイス				
		n	82.1	(%)	n	77.4	(%)		
全体		4,780	77.3	4.8	17.9	4,732	69.0	8.4	22.6
性別	男性	2,752	77.4	4.5	18.1	2,366	67.5	8.9	23.5
	女性	2,028	77.3	5.1	17.6	2,366	70.4	7.9	21.7
年代別	10代	254	63.4	10.6	26.0	380	54.5	15.0	30.5
	20代	692	66.0	6.6	27.3	736	61.7	10.6	27.7
	30代	827	77.0	4.6	18.4	836	68.2	7.3	24.5
	40代	1,007	80.7	4.0	15.3	1,027	72.0	7.6	20.4
	50代	880	80.7	3.8	15.6	865	74.7	6.8	18.5
	60代	647	82.1	2.6	15.3	583	73.1	7.9	19.0
	70代以上	473	82.0	5.9	12.1	305	72.8	5.9	21.3

n=アカウントを1個以上持っている人(Q6.アカウント保有数の回答)

参照: 性年代別_脅威調査PC.pdf、性年代別_脅威調査SD.pdf

■ 1年以上前から実施 ■ 1年以内に実施 ■ 実施していない

3-5-2. パスワード設定における対策状況(Q7.-2)「できるだけ長いパスワード」

脅威編

- 設定率はパソコンが70.3%、スマートデバイスが67.2%（青枠）。
- 年代が上がるほど実施率が低い。若年層は1年以内の対策開始の割合が高い（緑枠）。
- 2019年の設定率はパソコン59.8%、スマートデバイス56.6%と、本年の結果が10P程度高い。その要因として本年結果の10代の「1年以内」の対策率の高さが寄与している可能性（緑枠）。

		パソコン 70.3 (%)			スマートデバイス 67.2 (%)				
		n			n				
全体		4,780	62.9	7.4	29.7	4,732	57.4	9.8	32.7
性別	男性	2,752	63.7	6.8	29.5	2,366	56.8	10.2	33.0
	女性	2,028	62.0	8.1	29.9	2,366	58.1	9.5	32.5
年代別	10代	254	59.8	14.6	25.6	380	53.2	14.7	32.1
	20代	692	59.4	10.0	30.6	736	58.3	11.3	30.4
	30代	827	68.4	6.4	25.2	836	62.7	9.1	28.2
	40代	1,007	68.2	5.4	26.4	1,027	60.6	8.8	30.7
	50代	880	64.8	5.7	29.5	865	56.9	8.9	34.2
	60代	647	56.7	7.6	35.7	583	52.5	9.9	37.6
	70代以上	473	54.1	8.7	37.2	305	46.9	8.2	44.9

n=アカウントを1個以上持っている人(Q6.アカウント保有数の回答)

参照: 性年代別_脅威調査PC.pdf、性年代別_脅威調査SD.pdf

■ 1年以上前から実施 ■ 1年以内に実施 ■ 実施していない

3-5-3. パスワード設定における対策状況(Q7.-3)「使い回しをしない」

- 実施率は、パソコンが55.6%、スマートデバイスが47.7%(青枠)。
- 年代別では50代がピーク(赤枠)。1年以内の対策開始割合は10代(緑枠)高い。
- Q7-2.「できるだけ長いパスワード」と比べると実施率が20ポイント程度下がる。
- 2019年度の対策率がパソコン50.2%、スマートデバイス41.5%であり、改善傾向。

パソコン 55.6 (%)

スマートデバイス 47.7 (%)

		n	1年以上前から実施 (%)	1年以内に実施 (%)	実施していない (%)
全体		4,427	46.9	8.7	44.3
性別	男性	2,545	48.2	7.3	44.5
	女性	1,882	45.2	10.6	44.2
年代別	10代	209	41.1	16.3	42.6
	20代	642	40.8	10.3	48.9
	30代	788	48.6	7.0	44.4
	40代	938	51.5	6.3	42.2
	50代	818	48.9	8.8	42.3
	60代	606	45.7	9.2	45.0
	70代以上	426	43.7	10.6	45.8

		n	1年以上前から実施 (%)	1年以内に実施 (%)	実施していない (%)
全体		4,311	36.0	11.7	52.3
性別	男性	2,130	37.0	11.3	51.7
	女性	2,181	35.0	12.1	52.9
年代別	10代	330	30.3	15.2	54.5
	20代	670	30.6	11.8	57.6
	30代	770	33.9	11.0	55.1
	40代	935	37.0	11.7	51.3
	50代	788	41.8	9.8	48.5
	60代	537	37.1	13.2	49.7
	70代以上	281	39.9	11.4	48.8

n=アカウントを1個以上持っている人(Q6.アカウント保有数の回答)

参照: 性年代別_脅威調査PC.pdf、性年代別_脅威調査SD.pdf

■ 1年以上前から実施 ■ 1年以内に実施 ■ 実施していない

3-5-4. パスワード設定における対策状況(Q7.-4)「初期パスワードの変更」

- 実施率は、パソコンが72.2%、スマートデバイスが69.4%(青枠)。
- 年代別傾向は、50代がピーク(赤枠)。
- Q7-2「できるだけ長いパスワード」と同程度の実施率。
- 2019年度の対策率がパソコン62.7%、スマートデバイス61.5%であり、改善傾向。

		パソコン 72.2 (%)			スマートデバイス 69.4 (%)				
		n	1年以上前から実施	1年以内に実施	実施していない	n	1年以上前から実施	1年以内に実施	実施していない
全体		4,780	66.0	6.2	27.7	4,732	60.9	8.5	30.5
性別	男性	2,752	65.5	6.2	28.3	2,366	60.4	9.5	30.1
	女性	2,028	66.8	6.3	26.9	2,366	61.5	7.5	31.0
年代別	10代	254	56.7	10.6	32.7	380	56.3	12.1	31.6
	20代	692	58.7	9.1	32.2	736	57.9	11.8	30.3
	30代	827	66.9	5.6	27.6	836	62.6	6.9	30.5
	40代	1,007	70.2	4.1	25.7	1,027	63.4	6.6	30.0
	50代	880	70.8	4.9	24.3	865	64.0	7.5	28.4
	60代	647	68.2	5.3	26.6	583	60.5	8.9	30.5
	70代以上	473	59.8	9.3	30.9	305	53.4	8.9	37.7

n=アカウントを1個以上持っている人(Q6.アカウント保有数の回答)

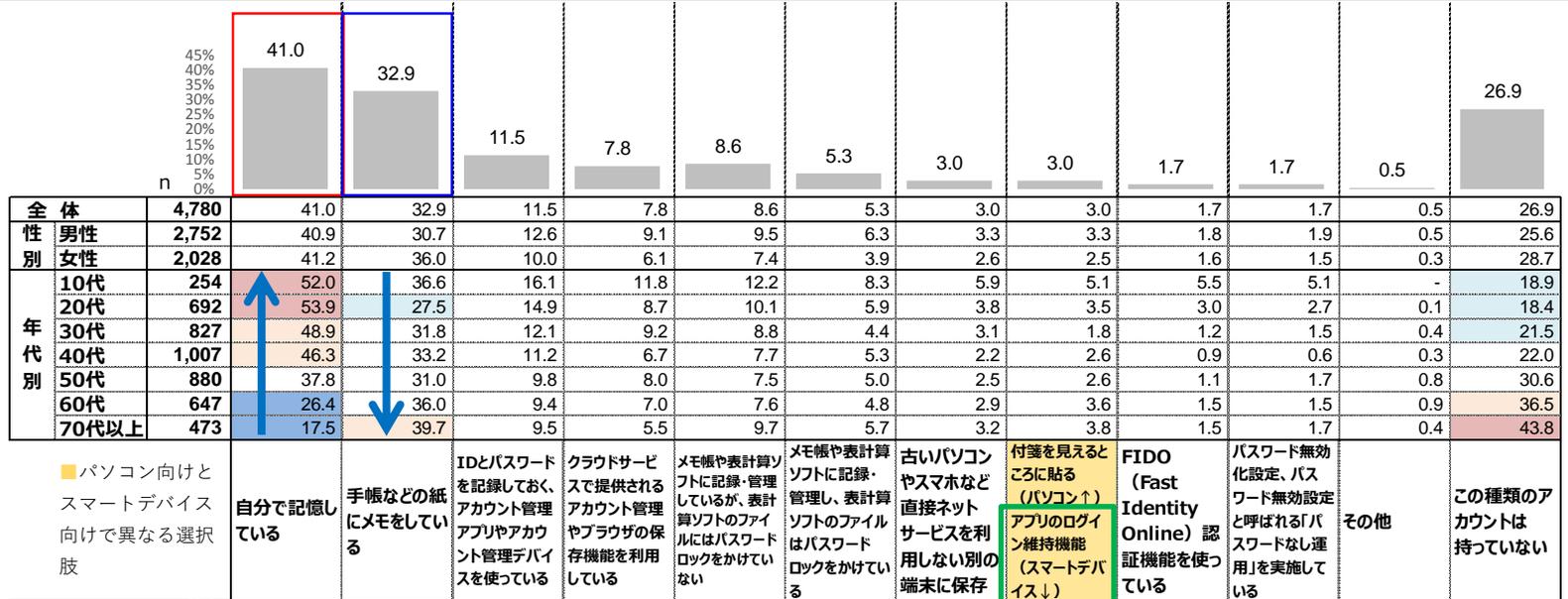
参照: 性年代別_脅威調査PC.pdf、性年代別_脅威調査SD.pdf

■ 1年以上前から実施 ■ 1年以内に実施 ■ 実施していない

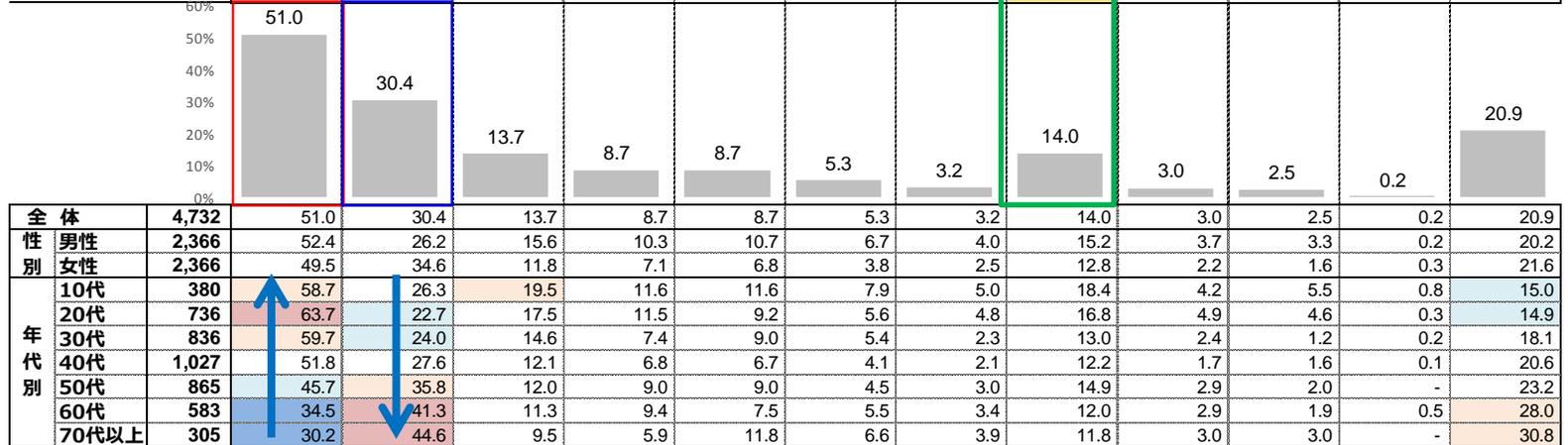
3-6-1. パスワード管理方法(Q8.-1)「プライベートな情報を書き込むアカウント」 脅威編

- 「自分で記憶」が最多(赤枠)。次点が「紙にメモ」(青枠)。スマートデバイスの方が「自分で記憶」の割合が高い。
- スマートデバイスでは「アプリのログイン維持機能」の利用率が管理方法の中で3番目に高い(緑枠)。
- 「自分で記憶」と「紙にメモ」の比率は年代とともに逆転(青矢印)。年代が上がるほど「紙にメモ」が多い。

パソコン



スマートデバイス



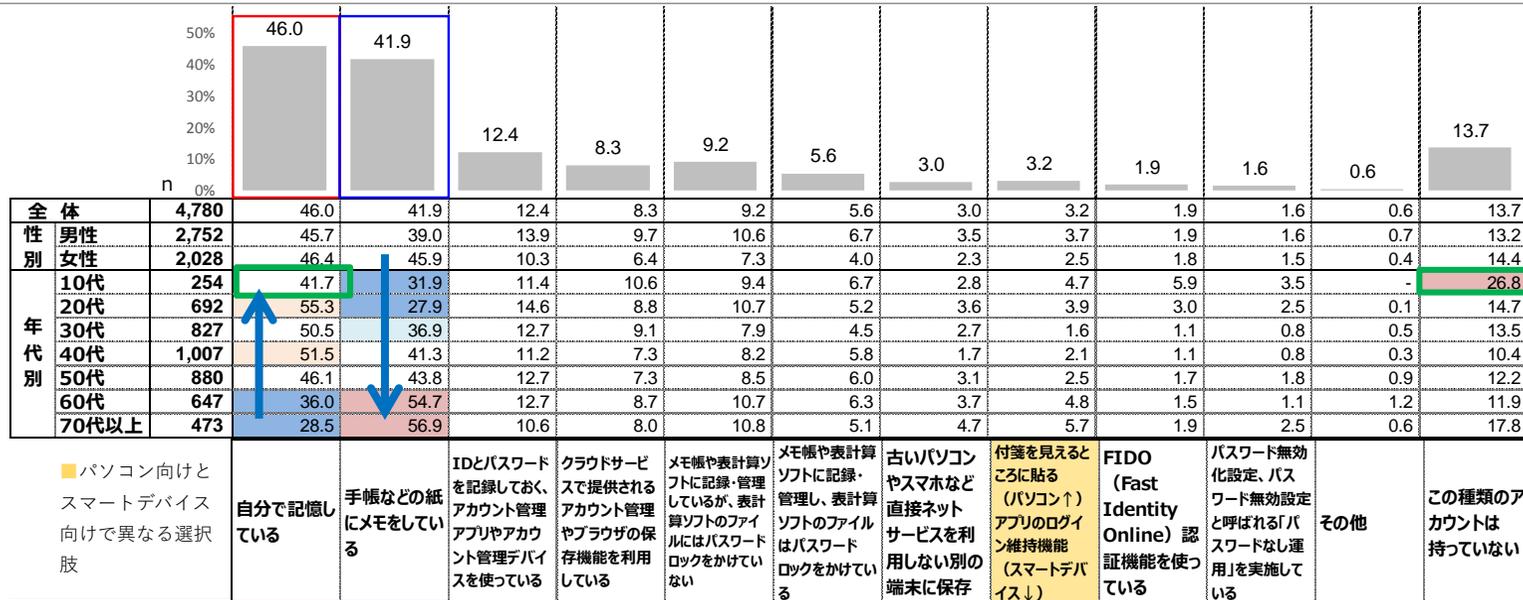
n=アカウントを1個以上持っている人

[全体比] ■...10pt以上 ■...5pt以上 ■...5pt以下 ■...10pt以下

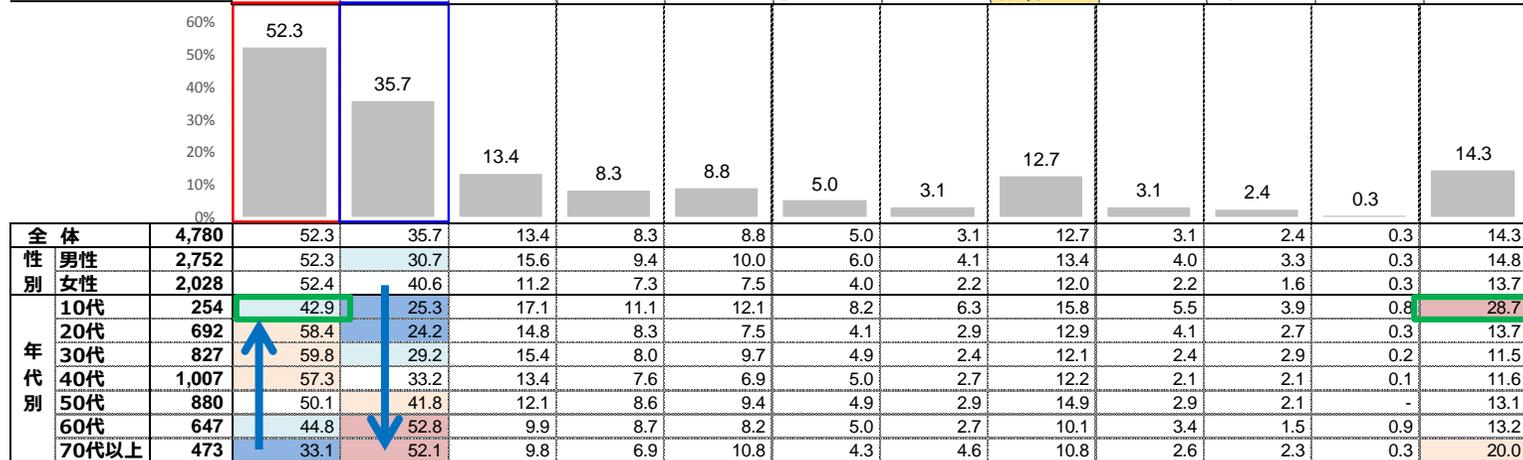
3-6-2. パスワード管理方法(Q8.-2)「金銭のやりとりをするアカウント」

- 「自分で記憶」が最多(赤枠)。次点が「紙にメモ」(青枠)。
- 年代別傾向はQ8-1「プライベートな情報を書き込むアカウント」と同様(青矢印)
- 10代は「非所持」が多く「自分で記憶」の割合が少ない(緑枠)。

パソコン



スマートデバイス



n=アカウントを1個以上持っている人

[全体比] ■・・・10pt以上 ■・・・5pt以上 ■・・・5pt以下 ■・・・10pt以下

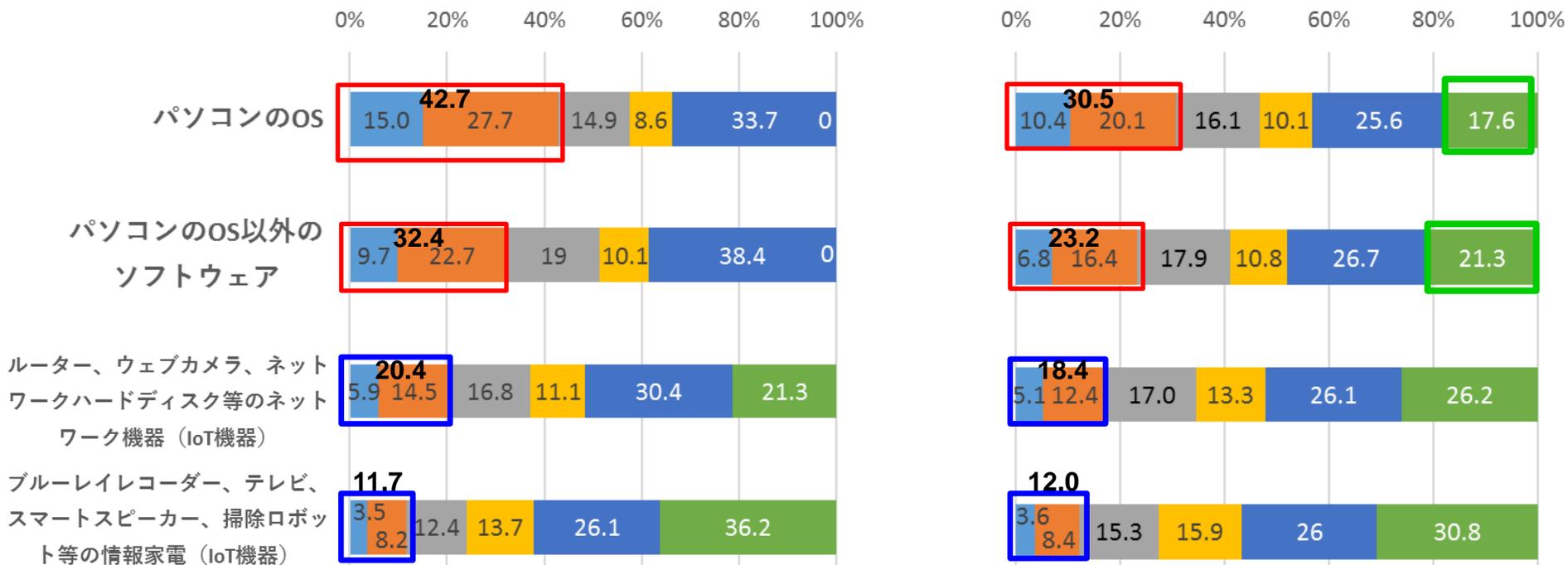
3-7. 脆弱性対策状況(Q.10)*

- スマートデバイス利用者 비해パソコン利用者の方が実施割合が10P程度高い(赤枠)。
- PCを持っていないと回答する割合が2割程度(緑枠)いることから、脆弱性対策の重要性の理解が至っていない可能性
- 2019年度調査結果では42.4%※であり本年結果42.7%とほぼ同等(※対象機器を細分化せず、脆弱性対策状況を聞いた)。
- 一方、IoT機器に対する対策状況は、所有デバイスの違いによる大きな差は見られない(青枠)。

パソコン利用者(n=5,000)

スマートデバイス利用者(n=5,000)

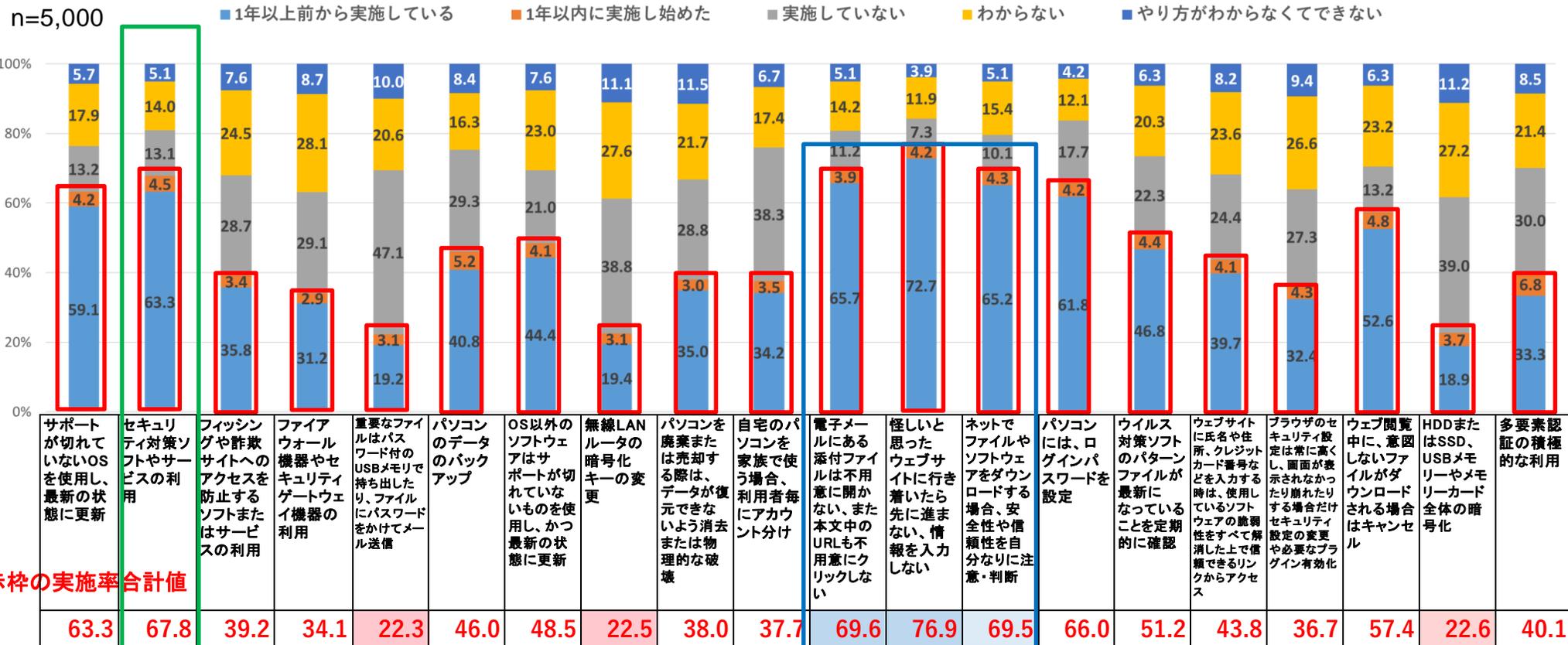
■ できている ■ ほぼできている ■ あまりできていない ■ できていない ■ わからない ■ 製品を持っていない



※脆弱性対策の必要性を理解する対象者にのみ、脆弱性対策状況を質問

3-8-1. セキュリティ対策状況(Q.11)パソコン利用者

- 上位3位まではウェブやメール利用時の注意(青枠)、4位がセキュリティソフト・サービス利用(緑枠)。
- 性別・年代別では、技術的な対策は若年層・男性ほど実施率が高く、「気を付ける、注意する」といった対策は年代が上がるほど実施率が高い。
(詳細は「性年代軸_脅威調査PC」を参照)



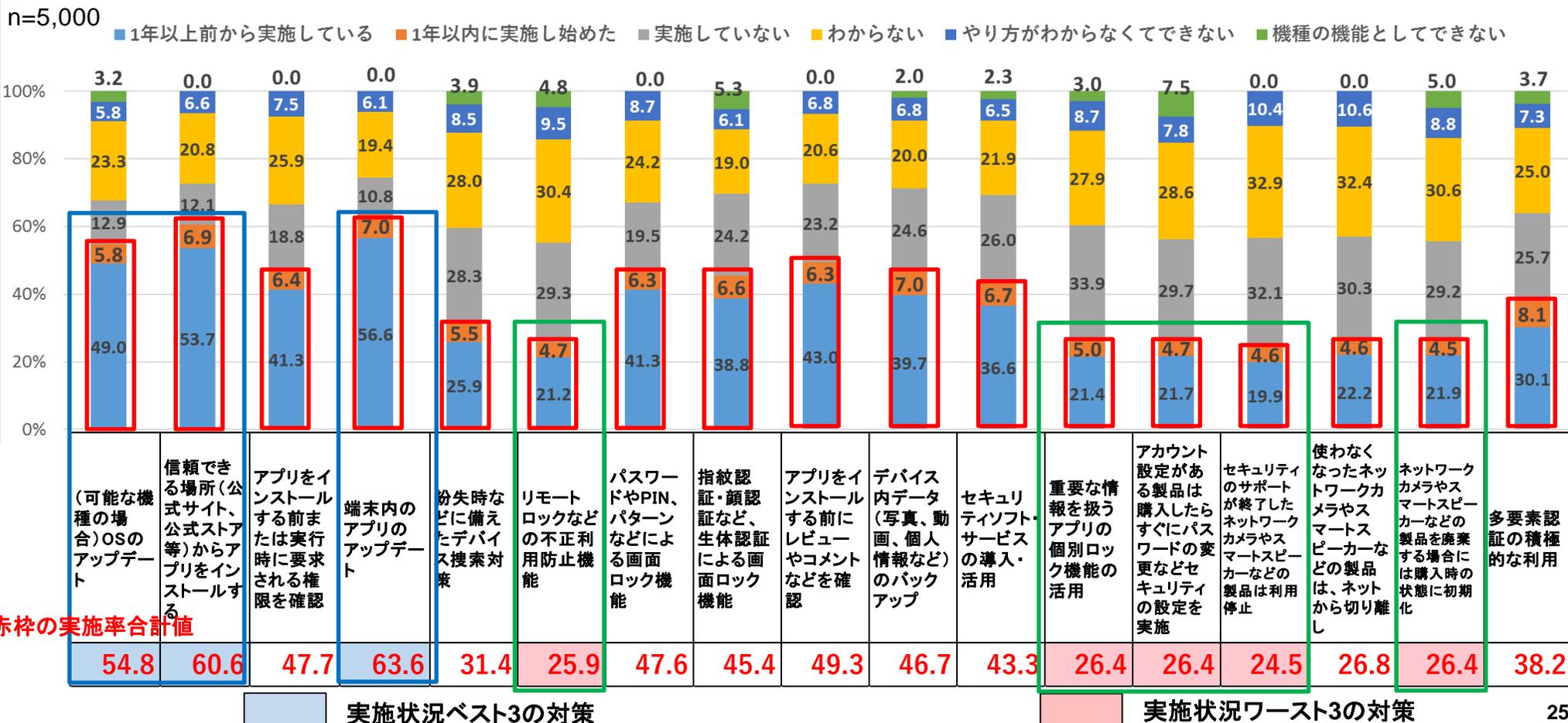
赤枠の実施率合計値

実施状況ワースト3の対策

実施状況ベスト3の対策

3-8-2. セキュリティ対策状況(Q.11)スマートデバイス利用者

- 上位3位は「アプリの更新」、「公式マーケットからのアプリインストール」、「OS更新」(青枠)。
- 下位3位(同率含む)は、不正利用防止のための「リモートロック」「アプリの個別ロック」とIoT機器における対策3つ(緑枠)



4.クロス集計結果 : 複数アカウント保有者のパスワード管理方法

4.-1. 複数アカウントを保有する人(Q.6)のPW管理方法(Q.8)の傾向

プライベートな情報を書き込むアカウント
(スマートデバイス利用者)

金銭のやりとりを行うアカウント
(スマートデバイス利用者)

- アカウント数20を超過すると、「自分で記憶」の割合が50%を切る(①)
- アカウント数100以下で紙に記録している割合が3割程度(②)

- アカウント数に限らず「自分で記憶」している割合が、他の管理方法と比べ最も多い(①)
- アカウント数50以下では、プライベートな情報を書き込むアカウントと比べても「自分で記憶」の割合が高い(①)

アカウント保有数	自分で記憶	紙に記録	管理用のアプリやデバイス	クラウドの管理サービスやブラウザの保存機能	アプリのログイン機能
6-10個	403 55.13%	② 224 30.64%	82 11.22%	③ 59 8.07%	99 13.54%
11-20個	252 52.94%	↓ 157 32.98%	73 15.34%	↓ 44 9.24%	75 15.76%
21-50個	154 ① 47.68%	↓ 114 35.29%	61 18.89%	↓ 35 10.84%	83 ④ 25.70%
51-100個	↓ 33 44.00%	↓ 23 30.67%	16 21.33%	↓ 11 14.67%	↓ 24 32.00%
101個以上	↓ 17 48.57%	7 20.00%	⑤ 17 48.57%	↓ 6 17.14%	5 14.29%
保有数不明	↓ 713 46.36%	413 26.85%	190 12.35%	101 6.57%	192 12.48%

自分で記憶	紙に記録	管理用のアプリやデバイス	クラウドの管理サービスやブラウザの保存機能	アプリのログイン機能
① 426 58.28%	291 39.81%	84 11.49%	③ 62 8.48%	98 13.41%
↓ 268 56.30%	203 42.65%	63 13.24%	↓ 47 9.87%	73 15.34%
↓ 167 51.70%	132 40.87%	63 19.50%	↓ 35 10.84%	83 ④ 25.70%
↓ 32 42.67%	28 37.33%	18 24.00%	↓ 11 14.67%	21 ↓ 28.00%
↓ 18 51.43%	10 28.57%	⑤ 16 45.71%	↓ 6 17.14%	4 11.43%
↓ 761 49.48%	484 31.47%	199 12.94%	100 6.50%	174 11.31%

<共通の傾向>

- ・ 絶対数は少ない(③)が、アカウント数が増えるとクラウド管理サービスやブラウザの保存機能の他手段が増
- ・ アカウント数101以上では、「紙に記録」の割合が急減し、他の手段の活用がうかがえる(④)
- ・ アカウント数が21を超えるとアプリのログイン機能を使う割合が急増(⑤)

- 「自分で記憶」している人は「紙に記録」している人よりパスワードを使いまわしている割合が高い(赤枠)
- その傾向はアカウント数が増えるほど顕著(緑枠)
- 「自分で記憶」している人は、使いまわしにより、アカウントの管理を簡便にしている可能性がある

プライベートな情報を書き込むアカウント (パソコン利用者)

	自分で記憶してる人の使いまわし割合 (抜粋)			紙に記録してる人の使いまわし割合 (抜粋)		
	複数所有	使いまわしてる	%	複数所有	使いまわしてる	%
2-5個	416	174	41.83%	308	125	40.58%
6-10個	284	129	45.42%	229	81	35.37%
11-20個	217	95	43.78%	206	74	35.92%
21-50個	196	81	41.33%	177	53	29.94%
51-100個	42	18	42.86%	43	13	30.23%
101個以上	22	9	40.91%	11	1	9.09%

金銭のやりとりを行うアカウント(パソコン利用者)

	自分で記憶してる人の使いまわし割合 (抜粋)			紙に記録してる人の使いまわし割合 (抜粋)		
	複数所有	使いまわしてる	%	複数所有	使いまわしてる	%
2-5個	429	197	45.92%	389	163	41.90%
6-10個	335	158	47.16%	306	116	37.91%
11-20個	261	117	44.83%	268	96	35.82%
21-50個	236	95	40.25%	253	81	32.02%
51-100個	43	17	39.53%	53	16	30.19%
101個以上	25	10	40.00%	14	1	7.14%

4-3. パスワード設定方法の三原則(Q.7)の実施状況とアカウント保有数(Q.6)の相関関係

- アカウント数が増える程、パスワードを「推測されにくい」「長い文字数」に設定している割合が上昇(赤枠)
- アカウント数が20を超えると「異なるパスワード」を設定している割合が上昇(青枠)
- アカウント数20以下では「異なるパスワード」の設定割合に顕著な傾向は無い(緑枠)

(パソコン利用者)

アカウント数	推測されにくいパスワードを設定			長い文字数にしている			異なるパスワードを設定		
	実施してる	保有数別人数		実施してる	保有数別人数		実施してる	保有数別人数	
2個	198	300	66.00%	155	300	51.67%	113	300	37.67%
3個	181	246	73.58%	144	246	58.54%	107	246	43.50%
4個	73	100	73.00%	65	100	65.00%	47	100	47.00%
5個	195	253	77.08%	162	253	64.03%	117	253	46.25%
6-10個	560	686	81.63%	470	686	68.51%	327	686	47.67%
11-20個	471	548	85.95%	348	548	63.50%	269	548	49.09%
21-50個	436	507	86.00%	354	507	69.82%	281	507	55.42%
51-100個	116	125	92.80%	94	125	75.20%	81	125	64.80%
101個以上	50	57	87.72%	40	57	70.18%	31	57	54.39%